

卒業おめでとう



No. 72
Spring

だ 議 しょう よ 会 う り り ど し ま

contents

○3月定例会

議員注目の
新年度予算

○一般質問

7人の議員が質問

○議会あれこれ

2024 令和6年5月1日発行

小豆島町



次代に夢をつなぐ、 持続可能なまちづくり

3月定例会を2月28日から3月15日まで17日間開催しました。

今定例会では、当初予算案件7件をはじめ、条例案件10件、人事案件7件、補正予算案件2件、その他案件4件が提出されたほか、発議2件が審議され、原案通り可決されました。

議員が注目した新年度予算は、こちら

防災行政無線整備事業

5億2781万4千円

住民への緊急時の避難情報、広報の伝達手段である防災行政無線の各種機器の経年劣化が進んでいるため、更新を行う。



河井議員が注目

安心・安全のまちづくりのためのインフラ整備は着実に進めていってほしい。

STEAM 教育の推進事業

855万5千円

中学校段階で理数系の知識や技術、芸術などを横断的に学習することにより、総合的な探求力・創造力を養い、生徒の課題解決能力を育む。



高尾議員が注目

自分で課題を見つけ、学び、理解し、考える力を育むための教育。GIGAスクールと同時に、未来を切り開く力が育つことに期待したい。

藻場再生・地域資源の好循環形成事業

282万9千円

水産業において、重要な自然資源である海草・海藻藻場の保全・再生に向けて調査を実施し、最終的には、ブルーカーボンを切り口とした事業の創出を行う。



大下議員が注目

貝を掘り、魚を釣った頃が懐かしい。昔のような豊かな自然環境の回復なくして、SDGsは語れない。

第10回全国醤油サミット in 小豆島の開催

200万円

令和6年11月2日・3日開催予定。醤油が培ってきた食文化の再認識、発酵技術の価値など全国の醤油産地との交流を通じて、小豆島が誇る醤油産業の活性化を図る。



塩田議員が注目

2009年10月に「第3回全国醤油サミット in 醤の郷小豆島」を小豆島町で開催したが、今回は土庄町で開催。産業再興の一助になるか。

オリーブ公園テニスコート等除却事業

7309万2千円

老朽化したオリーブ公園テニスコート施設を撤去し、跡地に民間資本のホテル誘致を行い、宿泊施設の整備を促進する。



羽田議員が注目

ホテル誘致により町内の宿泊施設の充実を図ることで、観光振興に好影響し、地域活性化に大きく貢献することが期待される。

民間住宅耐震対策支援事業

327万円

住宅の耐震性の向上を図り、町民の安全を確保するため、住宅の耐震診断・耐震改修に要する費用の一部を助成する。



川井議員が注目

これはやるべき。一般住宅の場合「耐震診断」にかかる費用は10万円前後と聞く。ほぼ自己負担なしで診断ができるのだから。

● 3月定例会提出議案の採決状況 ●

区分	議案と審議内容	審議結果	
条 例	小豆島坂手ポートターミナル条例について 小豆島坂手ポートターミナルを開設することに伴い、その設置および管理について定める	○	
	小豆島町更新住宅条例について 改良住宅の建て替えとして設置する更新住宅の管理について定める	○	
	小豆島町空き家資源活用住宅条例について 移住定住促進のため、町が空き家を借り上げて整備し、転貸に供する空き家資源活用住宅の設置および管理について定める	○	
	小豆島町職員等の旅費に関する条例等の一部を改正する条例について 小豆島町職員等の旅費（宿泊料）についての改正を行う	○	
	小豆島町会計年度職員の給与及び費用弁償に関する条例及び小豆島町職員の育児休暇等に関する条例の一部を改正する条例について 地方自治法の一部改正により、令和6年度から会計年度任用職員が勤勉手当の支給対象となることから、所要の改正を行う	○	
	小豆島町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について 「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律」の施行に伴い、所要の改正を行う	○	
	小豆島町手数料条例の一部を改正する条例について 戸籍法の改正により、戸籍及び除籍に係る電子証明書提供用識別符号の発行事務が追加になることから、所要の改正を行う	○	
	小豆島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について 香川県下の保険料水準の統一に向け、国民健康保険税の算定方式を現在の4方式から3方式に変更するため、所要の改正を行う	○	
	小豆島町介護保険条例の一部を改正する条例について 第9期に見込まれる介護サービス量から推計し、必要となる介護保険料額を設定するため、所要の改正を行う	○	
	小豆島町行政組織条例の一部を改正する条例について 建設課が所管する農林水産施設について、所管課を農林水産課へ変更することから、所要の改正を行う	○	
	補 正 予 算	令和5年度小豆島町一般会計補正予算（第6号） 小豆島オーリーブス(株)減収補填4467万円、各種事業経費の決算見込み等による精算▲3億4190万円など、▲1億9723万8千円の減額補正を行う	○
		令和5年度小豆島町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号） 令和4年度香川県国民健康保険保険給付費等交付金の精算等により、29万8千円の増額補正を行う	○
	そ の 他	坂手港観光振興ターミナル（仮称）建設工事に係る工事請負契約の変更について 工期変更に伴う工事請負契約の変更を行う	○
		小豆島町辺地総合整備計画の策定及び変更について 財政上の特別措置等を受けるため、辺地総合整備計画の策定及び変更を行う	○
		調停申立ての取下げについて 令和4年第4回定例会で議決された不動産の任意買収を求める調停の申立てについて、不調となったことから、調停の取り下げを行う	○
令和5年度小豆島町坂手財産区会計歳入歳出決算認定について 坂手財産区が令和5年12月21日に廃止となったことに伴う歳入歳出決算認定		○	

人事案件

▼教育長の任命同意

任期満了に伴う教育長の任命について、同意しました。

（任期…令和6年5月12日から3年間）

坂東 民哉 氏



▼教育委員の任命同意

任期満了に伴う教育委員の任命について、同意しました。

（任期…令和6年5月12日から4年間）

佐々木 孝 氏



▼固定資産評価審査委員会委員の選任同意

任期満了に伴う固定資産評価審査委員の任命について、同意しました。

（任期…令和6年5月11日から3年間）

議 員 発 議

発議 1

小豆島町議会議員の請負の状況の公表に関する条例について

→ 原案可決 (賛成 13 : 反対 0) 提出者 大下 淳

発議 2

草壁港の賑わいと活性化を求める決議

→ 原案可決 (賛成 7 : 反対 6) 提出者 高尾 豊弘

【提案理由】

草壁高松航路について、令和6年2月7日付で町長から提出のあった「草壁・高松航路の経緯及び本町の対応について」の報告を受け、令和6年2月21日の全員協議会にて議論を行った。議論の結果、町からの報告の通りであることを認識している。今後、草壁航路の可能性を追求し、港の活性化に取り組むことを強く求めるものである。



町からの報告
はこちら

【決議文】

草壁港の賑わいと活性化を求める決議

草壁・高松航路問題については、町長として、幾度となく官公庁や航路関係者との面談等を行い、これまでの経緯や活動状況等を議会の一般質問や全員協議会等で繰り返し説明されてきた。

これらの経緯や町の対応については、令和6年2月7日付で町長から提出のあった「草壁・高松航路問題の経緯及び本町の対応について」の報告の通りであると認識している。

また、令和3年4月から草壁・高松航路が休止になり、草壁港周辺地域への影響が懸念されている中、昨今の原油高、資材価格の高騰や船員不足は、航路事業者の経営に深刻な影響を与えており、大きな赤字が見込まれるなかで、航路再開の可能性は大変困難な情勢にある。

草壁・高松航路の休止は、航路事業における経済的採算性に本質的課題があり、経済上の課題を克服しない限り航路が再開することは無く、また、航路経営に責任を持っていない者が集まり協議したところで、経済的採算性を克服できないことは、資本主義社会の観点からも当然のことであり、さらに、航路事業は、町が担えるものではなく、また、現状の極めて厳しい財政環境を考慮した場合、航路事業者への町の赤字補填は不可能であることは、町と同様の見解である。

今日までの取り組みを住民に周知するとともに草壁港の可能性を追求し、港の賑わいと活性化に取り組むことを強く求めるものである。

以上、決議する。

令和6年3月15日

小豆島町議会議員長 谷 康 男

▼住民の願いであるフェリー再開に向けた取り組みを今後も息長く続けることもはつきり決議に表明すべき
▼法律に基づき、最終的な判断をすることが必要
▼提案のタイトルと内容が整合性に欠けるのではないか
▼航路事業者の事情に同調しただけの決議である
▼このタイミングでの決議は町民にマイナスの刺激を与える
▼現段階で決議を行うことは、草壁・高松航路の問題に対して強引に終止符を打とうとしているように思われる可能性がある

反対討論 6

▼大切なことは、町が行ってきたことを正しく理解し、将来に向けた政策を投資していくことである
▼航路問題の経過を住民に理解してもらおうとともに、航路再開を待ちながら、賑わいと活性化に、より一層取り組むための決議である

賛成討論 2



藤本 朋子 氏



谷部 達海 氏

▼人権擁護委員候補者の推薦
任期満了に伴う人権擁護委員について、候補者とする推薦に適任として答申しました。



山下 藍 氏



真砂 哲 氏



藪脇 修 氏

町政へ。

一般質問

一般質問とは

議員が行政全般にわたり、住民の声や自身の調査研究をもとに、町長や教育長などの執行機関に対し、事務の執行状況や方針などについて質問したり、報告や説明を求めたりすることです。

質問内容	質問者	掲載ページ
▷福武ハウス撤退後は	河井 修	7 ページ
▷防災意識の向上と取り組みは	川井 茂	8 ページ
▷横断歩道に照明を	安井 信之	9 ページ
▷消防水利の管理充実を		
▷児童生徒の読書離れ対策を		
▷目標を持った観光への取り組みを	高橋 淳	10 ページ
▷地場産業再構築の取り組みを		
▷安心して出産できる環境は		
▷SMOUT の効果的活用を	三木 卓	11 ページ
▷全授業にオンライン授業の導入を		
▷草壁・高松航路問題に係る対応は	羽田 満	12 ページ
▷統合小学校新築方針決定の経緯は		
▷ふるさと村全体整備基本計画は		
▷オーリーブスの安定運行を	鍋谷真由美	13 ページ
▷住民の移動手段の確保を早急に		
▷住宅耐震化の強化を		
▷軍拡ではなく平和外交が必要だ		

≡ 動画配信中 ≡

本会議での一般質問の様子を「YouTube」で録画配信しています



こちらから

≡ 傍聴できます ≡

本会議はどなたでも傍聴できます
「傍聴」を希望される方は、本会議当日に、議会事務局までお越しください



こちらから



かわい 河井
おさむ 修



質問者の動画は
こちらです

問 福武ハウスが撤退する
という話は本当か。
答 福武財団より、福武
ハウスの直接的な運営
について撤退したいと
の申し出が、町と福田
自治連合会にあった。

昨年8月より香川県
と兵庫県が、瀬戸内の
観光振興に向けて連携
協力する取り組みが始
まっており、姫路市長
が香川県や小豆島に縁
のある方なので、福田
港と航路でつながる姫
路市との交流を視野に

「小豆島石の
文化財シンポ
ジウム」にお
いて、参加さ
れた講師の先
生方から「石
積みの伝統技
術等を学び、
後世に継承す

問 福武ハウス撤退後は

答 新たなにぎわいを
創っていきたい

問 跡地利用の構想はあ
るか。

答 瀬戸内国際芸術祭と
大阪・関西万博が開催
される2025年に向
けて、アートや食のイ
ベントを実施すべく検
討している。

入れながら、新たなに
ぎわいを創っていきたく
いと考えている。

問 観光客だけでなく地
域の人たちが集まれる
場所ができるのが理想
だが。

答 2月に開催された

る石工の学校を造って
は」との提案があった。
全国から学者や研究
者、石工たちが集まり、
そこで学んだ人たち
が、城郭の石積みをは
じめとする全国の文化
財保全を支える存在に

なれば、福田地区のみ
ならず小豆島の活性化
や、文化財保存にも貢
献できると確信した。

まずは、令和6年度
から開始を予定してい
る森ヶ滝丁場の石積み
ワークショップを起点
として、石と福田を学
ぶ拠点づくりを進め、
地域の方々も気楽に立
ち寄れる空間を創造す
る取り組みと並行して
石工の学校のプランや
財源の確保も含めて検
討を進めたい。



新たなにぎわいづくりの検討が始まる福武ハウス



かわい しげる
川井 茂



問 防災意識の向上と取り組みは

答 啓発や補助事業の周知に努める

▼防災意識の向上は「問」町民の「防災意識」特に「共助意識」向上のために、「防災訓練」をどう考えているか。

【答】地域で実施する防災訓練や安否確認訓練が

地域防災力向上につながる。

引き続き、地域や自主防災組織の防災訓練に補助金を交付したり、普及・啓発に努めたりしていく。

▼避難場所を分かりやすく

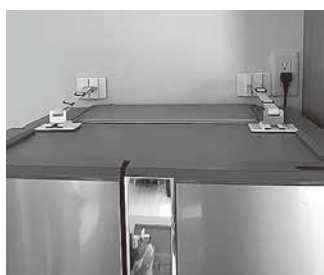
【問】地区ごとの「小豆島町各地区避難場所一覧」があるが、分かりにくいとの声がある。

各自治会単位のマルチハザードマップを作成し、居間等の壁に貼れば、防災意識向上や避難場所の確認にも効果があるのではないか。

【答】避難場所の再周知を行うとともに、常にマルチハザードに応じた避難場所を意識できる効果的な方法やソフト面での取り組み強化も検討する。

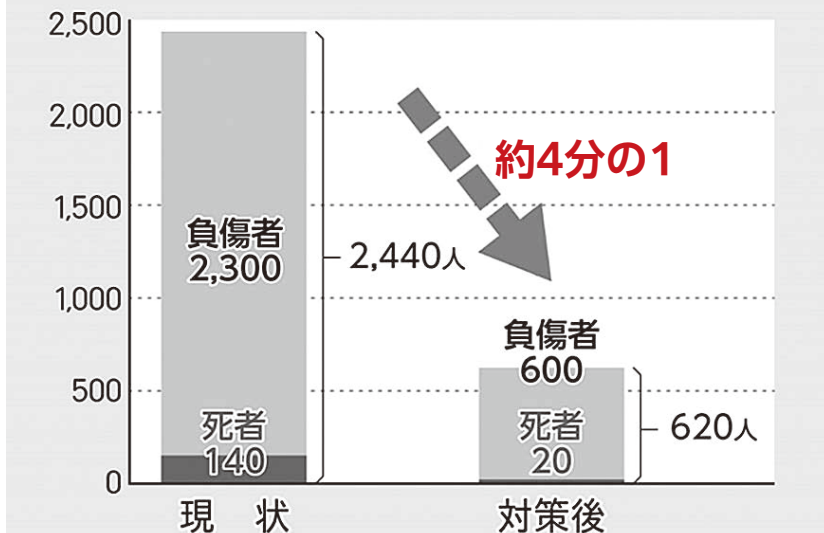
▼家具類転倒防止器具

【問】香川県は、家具類の転倒防止で、死傷者数を1/4に軽減できるという。町には器具購入費用の2/3を補助する制度があるが、高齢者等には困難な作業になる。香川県には以前「家具類固定サポート制度」があったが、町独自にこの制度を検討できないか。



冷蔵庫の転倒防止器具

家具類の転倒・落下防止対策による死傷者の軽減(人)



香川県危機管理課発行「家具類の転倒防止対策」から抜粋

【答】重要な防災・減災対策と位置付け、購入補助や効果的な取り付けを推進したい。香川県防災士会だけでなく、町内工務店等事業者の協力も必要になるとも考えている。

▼補助金等の周知は

【問】住宅の耐震診断や改修の補助制度の周知は。

【答】広報やホームページで周知し、自治会などへパンフレット配布を予定している。



やすい のぶゆき
安井 信之



質問者の動画は
こちらです

問 近くの交差点に照明がある場合でも、横断歩道に防犯灯設置などの対応が必要な時はどうするのか。

答 自治会等も含め、何らかの形で対応できたらと考えるので、協力してもらいたい。歩行者は明るい服装での外出・反射材の着用や懐中電灯の活用、ドライバーはライトを早めに点灯し、ハイビームの活用に努めてもらいたい。

問 横断歩道に照明を

答 現地調査をして、検討していく



埋まっていた防火水槽

問 認識しづらい歩行者の服装があるが。

答 交通キャンペーン等で啓発活動に努めている。

問 小口径の消火栓は対応しかねないのでは。

答 初期活動において、地元や女性の方でも使い勝手が良いので初期消火に努めていただきたい。

問 消防水利の管理充実を

答 地域の実情に応じて確保していく

問 防火水槽・消火栓の使用可能範囲の周知をすべきでは。

答 消防署と自治会で協議し、どのように周知すべきか検討したい。

問 読書アプリの試験導入はどうだったか。

答 読書の冊数が増えたかという検証はできていない。今後、1小学校で使用料金を保護者負担でアプリを導入予定である。その結果を踏まえ導入を検討したい。

問 児童生徒の読書離れ対策を

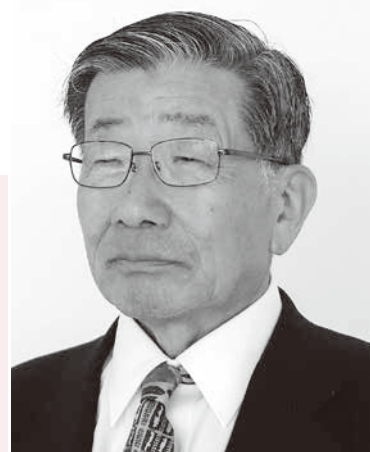
答 読書アプリの導入を検討したい

問 タブレットに慣れ親しむ方策・読書離れ対策として、読書アプリを採用すべきでは。

答 タブレットを利用して電子図書を読むことは、読書の習慣づけに一定の効果がある。一方で、本を読むことのメリットもあると考える。長時間のタブレット使用で、視力等健康面の配慮も必要のため、学校現場の意見も聞き、検討したい。



タブレットを活用した授業



たかはし じゅん
高橋 淳



質問者の動画はこちらです

問 目標を持った観光への取り組みを

答 行政と民間の協働体制を構築する

問 小豆島を日本のハワイにするというような目標を持って、観光の問題に取り組む必要があるのではないか。

答 現状では、宿泊、飲食等の受入体制が脆弱であり、具体的な目標

を掲げるには時期尚早と考える。

2025年を当面の節目として、行政と民間の協働による受入体制の整備に努める。

問 島の状況を大胆に変えていって、若者が夢を持てる島にしないと

出ていった若者は帰って来ない。行政の果たす役割が非常に大きいと思うが。

答 行政の役割が非常に重要だと思っている。しっかりとこの島や町を変えていけるよう取り組み。



多くの観光客が訪れる小豆島オリーブ公園

こちらも質問

問 安心して出産できる環境は

答 うみまちサポートが最善の策

問 地場産業再構築の取り組みを

答 各種施策で地場産業を支援

問 醤油、佃煮や素麺と

いう地場産業に対して、力強い再構築に向けた取り組みが必要。

地場産業の経営者との話し合い等が必要だと思うが。

答 地場産業の再興には、企業や団体等の主体的な事業活動を引き出す事が重要。

経営者との対話については機会を捉えて行っている。各事業団体の提案、相談を受ければ可能な限りの支援

を行う。

問 町の継続した発展のためには、若い経営者の育成等、発展する可能性のある企業の芽をつくっていかなくてはならないと思うが。

答 若い経営者が、少しずつながら出てきており非常に心強く思っている。

町は、若くて意欲と行動力がある、そういう経営者を支援していきたいと考えている。



みき たかし
三木 卓



質問者の動画はこちらです

※SMOUTの効果的活用を

問 近々、募集を行う予定



地域おこし協力隊による
ティーボール教室の様子

問 地域おこし協力隊の募集について、さぬき市の取り組みには少し目を見張るものがあったが。

答 さぬき市の事例については、職員を訪問させ、そのノウハウと効果について調査研究を行いたい。

問 少しでもいい人材を獲得するために、SMOUTサイトの活用は。

答 地域おこし協力隊制度の全国的な普及とともに、優秀な人材の獲得に向けた自治体間の競争は年々高まってきている。そのため、移住や地域おこし協力隊に興味のある方の注目

度が高い情報サイトや、SNS広告等の活用が大切であると考えている。

本町でも既に過去に4度掲載しており、採用にもつながっている。近々、SMOUTを使い隊員の募集を行う予定である。

※SMOUTとは
地域のひと地域に関わりたい人をオンライン上でつなぐマッチングサービスのことです。

全授業に オンライン授業の導入を

答 効果的な方法を検証し拡充したい

問 オンライン授業を取り入れることで、登校できない子どもも教育を受ける機会を失われず、アーカイブに残すことで、出席した児童・生徒は復習も可能になるが。

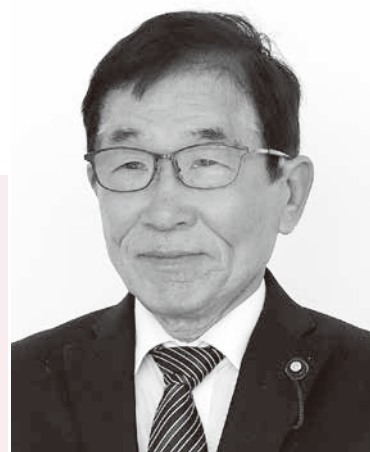
答 本町の不登校児童・生徒の対応については、担任が定期的な電話連絡や家庭訪問等の個々に応じた丁寧な取り組みを行っている。

があれば、家庭や別室登校においてオンライン配信での対応を行った実績がある。

問 小学校、中学校でのオンライン授業の導入は。

答 児童・生徒の学びの機会を確保することは大変重要なことであり、すでにオンライン授業の実績はあるが、多くの授業で配信できる体制等、効果的に実施できる方法を検証し、拡充したい。

学習面においても、一人一人の状況に合った支援を行う中で、オンラインで授業に参加することも提案しており、これまでも、希望



はだみつる
羽田 満



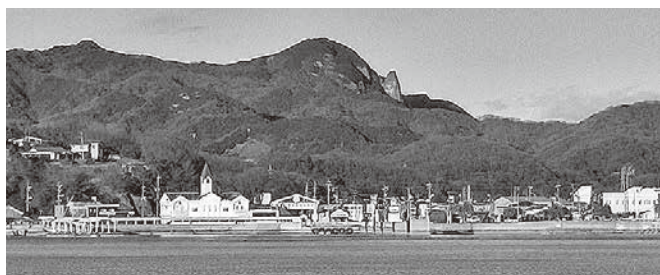
問 草壁・高松航路問題に係る対応は

答 町広報で
正確な情報等を報告する

問 就航の会関係者の文書に「国交省、四国運輸局、香川県の各担当者からも、自治体、つまり町長が動くのであれば、全面協力しますと断言、約束を交わして

いる」との記述があった。航路問題に進捗のない中、町長は何もしていないかのよう示唆し、住民が誤解を招く表現である。町長はどのように捉えているのか。

答 町長就任後、直ちに草壁高松航路参入の意向について航路事業者へ直接確認し、参入は無理との回答であった。また、四国運輸局や県等では、航路に関する考え方を確認している。航路事業における経済的採算性に本質的課題があり、町長が動けば解決することでも



草壁港

航路問題には一定の区切りをつけ、草壁港周辺の活性化に向けて前向きな一歩を踏み出さなければならぬ。

問 小豆島高校跡地に中学校を建設する案もあつたが、統合小学校を新築する方針を決定した経緯は。

答 内海地区の小学校の統合は、長年の課題であったが、令和4年11月の総合教育会議において、安全性等の観点から、建設候補地は小豆島高校跡地と決定した。

令和6年2月9日の総合教育会議で、教育現場の多様化するニーズに柔軟に対応し、児童により安全で快適な学習環境を提供することが最も重要であるとの判断から、統合小学校を新築する案で決定した。令和6年度には各学区で説明会を開催する。

問 統合小学校新築方針決定の経緯は

答 安全で快適な学習環境が最も重要

こちらも質問

問 ふるさと村全体整備基本計画は

答 協議・検討中。前向きに取り組む



なべたに まゆみ
鍋谷真由美



質問者の動画は
こちらです

問 オリーブバスの の安定運行を

答 ノンステップバス購入補助を行う

問 オリーブバスの安定運行は、住民の移動手段としてかかせない。4月からのダイヤ改正に住民から不安の声もある。変更内容は、

答 1日114便から97便へ17便の減便を行うほか、一部の路線変更や最終便の時刻の繰り上げ等で、運転手の労働環境を改善する。

問 町の支援の現状と見通しは。また、運転手の待遇改善、特に週休を

増やすことや、社内の雰囲気をよくすることなどが重要ではないか。

答 運転手の賃金アップや休暇の拡大など処遇改善については、慢性的な運転手不足を克服する上でも早急な取り組みが求められる。一方で大きな赤字であり、早急な経営改善を図る必要がある。ノンステップバスの購入補助のほか、運行状況がスマホ等で確認でき

るバスロケーションシステムの導入を検討し、利便性の向上による利用者の獲得と運賃収入の増加をめざす。

問 住民の移動手段の確保を早急に

答 AI活用オンデマンド交通協議中

問 バス停から遠いエリアに住む高齢者の移動手段について、ライドシェアやオンデマンド交通の活用も視野に入れ、引き続き調査研究に取り組むとのことだが、具体的には。

例えばA-1を活用した乗り合いタクシーを、毎日運行している先進地に学んで早急な取り組みを。

答 AIを活用したオンデマンド交通先進地を町内事業者と視察し、実証運行に向けて、運行事業者、四国運輸局と協議を開始した。しかし、運行委託料が高額であり、引き続き事業者との価格交渉を行う。

ライドシェアについても先進自治体の取り組みを研究していきたい。

こちらも
質問

問 住宅耐震化の強化を

答 耐震化を推進する

問 軍拡ではなく平和外交が必要だ

答 防衛や外交の問題は国政の場で議論を

編集員広報研修会

1月12日に研修会が開催されました。



広報編集特別委員会

広報コンサルタント芳野政明氏から、議会の「見える化」に大きな役割を果たす「議会だより」の基本と編集について、全国の自治体の例を参考に学びました。

また、県内9町の議会だよりの優れたところや改善課題の指摘を受け、企画や編集技術についてのアドバイスをいただきました。

小豆島町についても、より見やすく、伝わる議会だよりにするための課題が多くありました。

広報編集特別委員会では、今後とも、住民の皆さんに読まれる議会だよりにするため、検討・改善を重ねてまいります。

議会あれこれ

2月臨時会

第1回臨時会は2月7日に開催されました。北条地区更新住宅整備事業第一工区建設工事に係る報告1件、契約の変更議案が2件提案されました。

また、住民税均等割課税世帯物価高騰対応重点支援給付金事業費など9519万1千円の補正予算が提案され、すべて原案の通り、承認・可決されました。



北条地区更新住宅見学会

常任委員会

2月21日に総務建設常任委員会が開催され、次の状況報告を受けました。

総務建設常任委員会

【商工観光課】

「小豆島ふるさと村全体整備基本計画について」

【総務課】

「町防政行政無線整備事業について」

全員協議会

次のとおり、全員協議

全国町村議会議長会表彰

中松 和彦 議員



中松和彦議員が、町村議会議員として、議会の運営および地域の発展に貢献した功績がたたえられ、全国町村議会議長会より表彰されました。

議会が開催されました。

【企画財政課】

「草壁・高松航路問題の経緯及び本町の対応について」

3月15日

【香川県広域水道企業団小豆ブロック統括センター】

「令和6年度事業等について」

【建設課】

「小豆島坂手ポータルミナルの愛称について」

【総務課】

「教育委員会組織の改編について」

編集後記

暖かな日差しが心地良く感じる季節となりました。春の選抜高校野球を観戦するため、8年ぶりに訪れた甲子園。2016年、21世紀枠で小豆島高校が出場を決めた年は、選手や関係者だけでなく、島中がお祭り騒ぎに。私たちに勇気と感動を与えてくれた小豆島高校野球部。駆けつけた約6千人の大応援団でアルプス席が沸き返った瞬間を懐かしく思い出しました。

好きなことを見つけ「うまくなりたい。強くなりた」と鍛錬する。そこに探究心と向上心があるからこそ、人としても成長できます。目標に向かいチャレンジし続けたことは「自信」につながります。挑戦する姿は、時に周囲に感動を与えます。

あの春のお祭り騒ぎのように、島全体が活気に満ちた、明るい未来に進んでいくことを心から望んでいます。

中川 光秋 記